

は じ め に

鳥取県小学校体育研究会

会長 北 村 知 憲

平成27年度の鳥取県小学校体育研究会の研究・実践のまとめとして、ここに伝統ある成果刊行「あゆみ」第60号を刊行する運びとなりました。各郡市の研究実践をはじめ、提案や報告等、大変貴重な内容をまとめとしてご寄稿賜りました。会員の各先生方並びに役員の皆様のご努力とご研鑽に心より感謝申し上げます。

昨年度は、第52回中四国小学校体育研究大会（鳥取大会）を大成功のうちに終えることができ、本年度は、次の鳥取大会に向けた新たな9年間のスタートを切った年となりました。本体育研究会は、鳥取大会から引き継いだ研究主題「勢いのある鳥取の体育～はずむ心 豊かな学び 確かな力～」について、さらなる実践と追求をめざして、各郡市での研究実践はもとより、夏季一泊研修会、中四国小学校体育研究大会（愛媛大会）等々、意欲的・精力的に活動することができました。これも永年、本体育研究会が築きあげてきた歴史と伝統、そして何よりも、「楽しかった」「もっと運動したい」「できるようになってうれしい」という楽しさの体験や達成感を子どもたちが味わえる体育学習を行いたいという先生方の思い、そのために指導力を向上させていこうという姿勢があり続けているからだと思います。

本会の大きな事業である「夏季一泊研修会」では、第1日目に、東京学芸大学 鈴木 秀人 教授に講演と実技研修をしていただきました。講演では、「体育授業づくりの課題」と題して、ボールゲームと体づくり運動を例に授業づくりの課題についてお話いただき、実技研修では攻防のバランスをテーマに「陣取り型ボールゲームの指導の在り方」について具体的にご指導をいただきました。第2日目は、鳥取県教育委員会体育保健課 生田 優介 指導主事から「鳥取県の小学校体育に望むこと」について講義いただくとともに、中四国小学校体育研究大会（愛媛大会）で分科会発表を行う岩美郡の実践報告をもとに研究協議を深め、鈴木教授、生田指導主事より指導助言をいただきました。県内の会員が一堂に会して研修・交流を深めることができ、大変有意義な2日間となりました。

大会主題「愛顔いっぱい 体育学習 ～豊かなかかわりを通して～」のもとに開催された第53回中四国小学校体育研究大会（愛媛大会）では、岩美北小学校の澤田孝志先生に第5分科会「体づくり運動（多様な動き・体力）」において提案発表いただき、中四国各県に向けて本県の取り組みを発信することができました。また、各郡市からも多くの会員の先生方が参加されて研究を深め、成果を持ち帰ることができました。

中四国大会の中で、最高顧問の成田十次郎先生から、これからの中四国小学校体連盟の目標として、優れた体育学習をすべての県・すべての学校・すべての学級に広げていこう、そのために科学にもとづいた授業を推進していこうというお話がありました。鳥取の子どもたちが様々な運動との出会いを大切にし、意欲をもって体育学習に取り組んでいる。そのような光景がどの学校でも目にすることができるよう、本体育研究会の組織力を更に高め、会員の先生方が一体となって研究・研修を進めていきたいと思っています。平成28年度内には、次期学習指導要領改訂への中教審答申がなされるとも聞いております。今後とも、会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

終わりにになりましたが、私たちの取り組みにご指導・ご支援をいただきました、鳥取県教育委員会をはじめ、各市町村教育委員会、中四国小学校体育連盟、指導助言者、関係各位に心より感謝申し上げます。本体育研究会がますます発展していくことを祈念して、はじめのあいさつといたします。